

広げよう 地域に根ざした思いやり ～災害時一人も見逃さない運動～



市の高齢化率 24.42%に！

ひと目でわかる！平成 27 年度『在宅高齢者実態調査』速報

地域全体で福祉課題に取り組む



地域住民の皆様には、民生委員児童委員協議会の運営に対しまして格別のご指導、ご協力を賜り心よりお礼申し上げます。

今年5月中旬より7月末日にかけて実施致しました、『65歳以上在宅高齢者実態調査』にご協力いただき、誠にありがとうございます。お蔭様で回収率も95.4%と高く、皆様のご協力の賜物と深く感謝申し上げます。

茅ヶ崎市民生委員児童委員協議会会長 篠原 徳守

調査結果から茅ヶ崎市の高齢化は、団塊の世代が加わったことで急激に進み、それに伴いひとり暮らし高齢者や高齢者世帯も急増傾向を示しています。

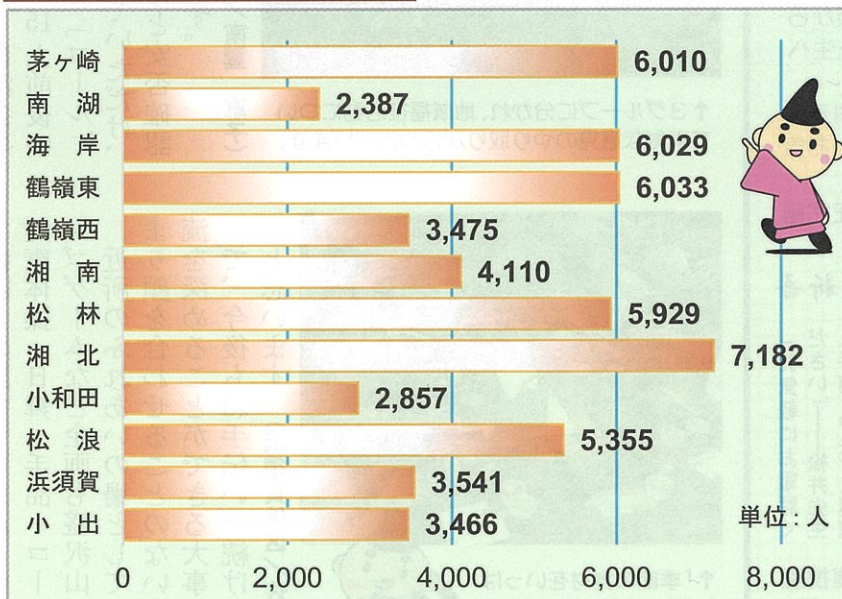
高齢者の「住み慣れた地域で、安心して暮らし続けたい」という一人ひとりの思いを大切に、民生委員・児童委員が担当する区域の状況に合わせて、多様化する福祉課題の解決に向けて、個別相談支援の活動や友愛訪問・安否確認等を積極的に推進しています。

今後も諸課題の解決に向けて、地域の基礎的組織であります自治会との連携、協働はもとより、地域包括支援センター、行政並びに社会福祉協議会等との連携も更に強め、地域全体で高齢者、障がい者、子育て家庭等の見守り活動を進めてまいります。

民生委員・児童委員には、「民生委員法」で守秘義務が課せられており、市民からの相談事に対して、他言することは一切ございませんので、安心してご相談ください。

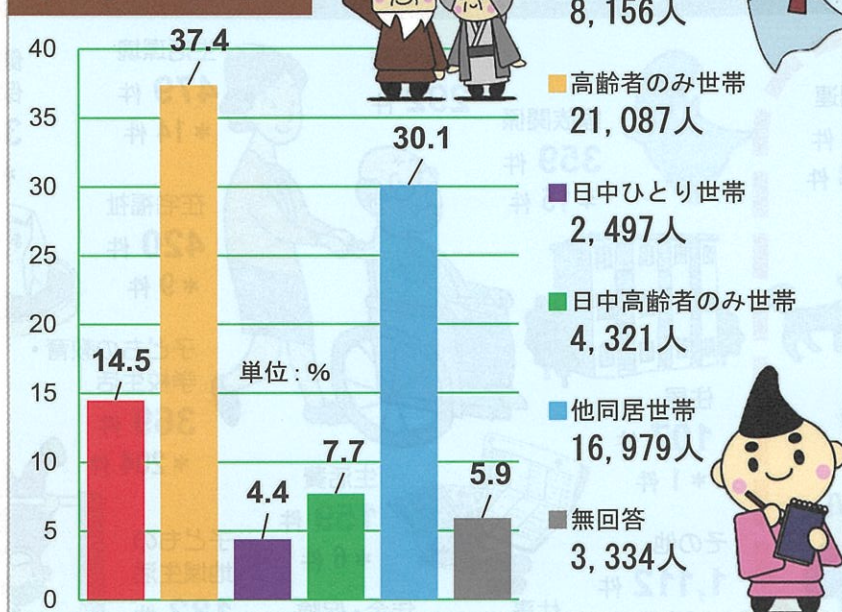
地区別回答者数

●今回の調査の回答者数は、12地区合計 56,374 人でした。



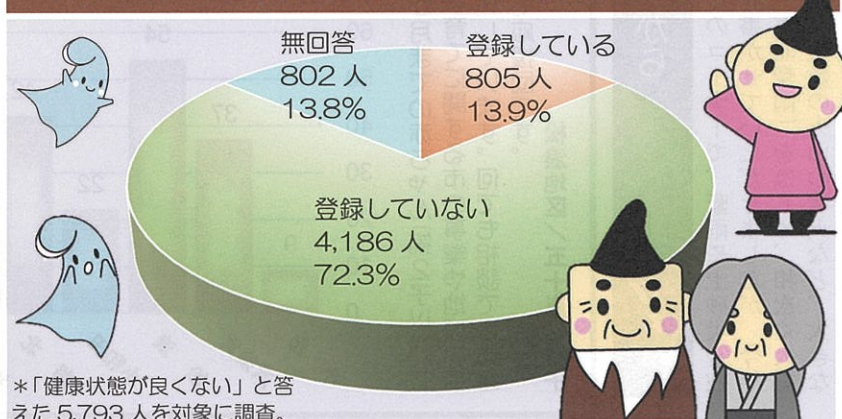
★急激な高齢化に伴い、平成 27 年度は、平成 24 年度の調査時より約 6,000 人高齢者が増加しています。中でも湘北地区が最も高齢者人口が高く、次いで鶴嶺東地区、海岸地区と続いています。

世帯の状況



★「ひとり世帯」が 14.5%、「高齢者のみ世帯」が 37.4%、この2つを合わせた「65歳以上の高齢者のみ世帯」は実に 51.9%に達します。「高齢者のみ世帯」は、ひとり世帯の予備軍と考えられるため、「ひとり世帯」は、今後も増え続けることが想定されます。

『災害時要援護者支援制度』登録状況



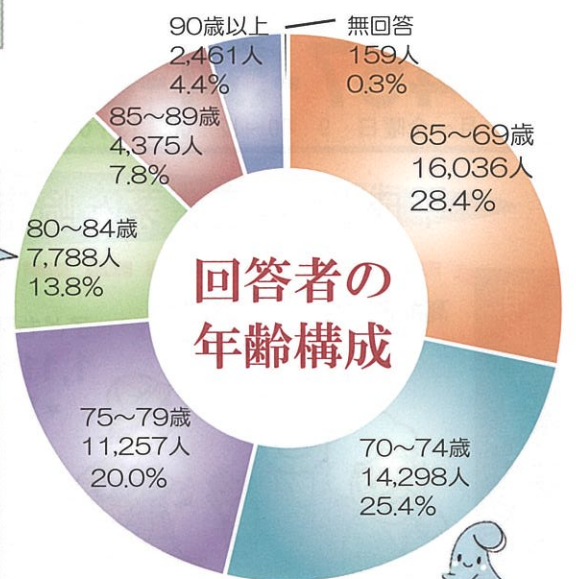
※「健康状態が良くない」と答えた 5,793 人を対象に調査。

面談・聞き取り調査の目的

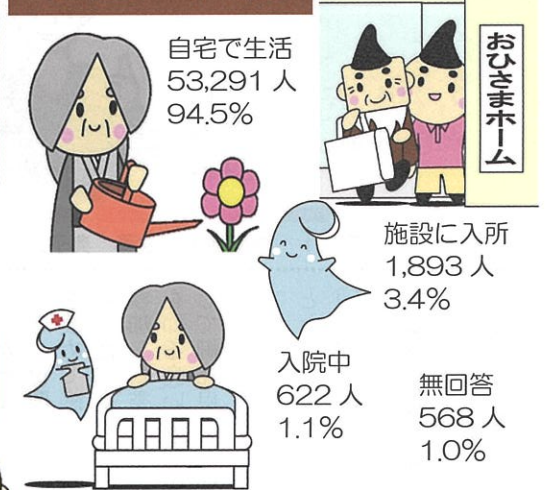
急激に高齢化（H27.5.1 現在、高齢化率 24.42%）が進む茅ヶ崎市では、65歳以上のひとり暮らし高齢者や高齢者世帯等の状況を把握し、地域の見守り活動や緊急時の対応等に活用することに加えて、元気な高齢者を把握し、それらの人々には地域活動に参加してもらうために今年の初夏『茅ヶ崎市 65歳以上在宅高齢者実態調査』を行いました。

調査項目としては、対象者の基本属性・災害時や病気、けが等の緊急連絡先・災害時要援護者支援制度の登録状況等で、原則担当民生委員・児童委員が訪問して、ご本人に直接面談・聞き取り調査を実施しました。この調査結果につきましては、今後の民生委員・児童委員活動にはもちろん、高齢者福祉施策等の基礎資料として有効活用されます。

回答者の年齢構成



現在の状況



★今回の調査で、「現在の健康状態が良くない」と回答した 5,793 人のうち、『災害時要援護者支援制度』に「登録している」は、805 人（13.9%）、「登録していない」は、4,186 人（72.3%）という結果が出ました。

市内には、本制度に登録した方が良いと思われる人が、まだまだ潜在的に存在しているということです。地域での登録へのお声かけと同時に、支援者としてお力添えいただけそうな方へのお誘いなどにご協力いただければ幸いです。

民生委員・児童委員の活動記録から

小和田 敬老大会で大活躍！ “民生・児童歌劇団”



↑皆で歌って踊って大盛況！ 私たちも自作自演でがんばっています。

小和田地区民児協では、毎年行われる「敬老大会」で、地区社協に協力しています。

今年9月15日に行われ、演芸タイムでは、保育園児のお遊戯やプロの新星劇団による唄と踊りと津軽三味線シヨリに加え、手話を交えた歌、お口体操ソング、ボケない小唄の替え歌なども飛び出し大盛況！

私たちも「民生・児童歌劇団」として、4年前から自作自演の劇や歌で皆さんに楽しんでもらっています。

(小和田地区/佐藤 真)

湘北 月2回、交替で「お元気ですかコール」

当地区には、自治会単位の7つの地域社協があり、それぞれが、「歩いて出かける小地域サロン」を合言葉に、子育て支援やコミュニケーションなど（現在23か所）を開いており、23名の民生委員はスタッフとして皆さんにお会いしています。また、私

茅ヶ崎歯科医師会からのお知らせ 訪問歯科診療

ご相談・ご利用はお気軽に

茅ヶ崎歯科医師会では、要介護状態や障がい等により、通院での歯科受診が困難になった方への在宅療養支援に取り組んでいます。

窓口として『茅ヶ崎歯科医師会在宅歯科医療地域連携室』を設置し、訪問歯科診療に関する相談から訪問歯科診療に対応できる歯科医師会所属の先生への連絡・訪問診療調整等を行っています。

様々な理由で外出・通院が困難になり、歯科受診をがまんしているようなことがありましたら、お気軽にご連絡ください。

地域の歯科医療を支える茅ヶ崎歯科医師会在宅歯科医療地域連携室をご利用ください。

連携室運営委員長 松井新吾



「お気軽にお電話ください」——松井先生（手前・中央）と連携室の皆さん。

連絡先/茅ヶ崎歯科医師会在宅歯科医療地域連携室
0467-54-0993
月～金曜日 9:00～12:00 13:00～17:00



↑3グループに分かれ、地域福祉活動について真剣な意見のやり取りが行われています。

(湘北地区/南雲 恵子)



↑季節の食材をいっぱい使ったおいしい昼食が楽しみという参加者もたくさんおいでになります。

(浜須賀地区/佐藤 和美)

浜須賀 旬の食材で手料理、お楽しみ企画も満載！

浜須賀地区民児協では、地区社協が主催する「ふれあい昼食会」に協力しています。地区内12の自治会を4つに分け、年2回ずつ実施しているこの催しは、77歳以上の方が対象で自治会の回覧とは別に民生委員が個別にお知らせします。11時半から始まり、ボランティアグループ「えにしだ会」の皆さんによる、旬の食材をメインにした手作りの料理は、彩りもおいしさも格別で毎回大好評です。また、血圧測定・健康体操・日舞・手品・コーラス・ビンゴゲームなど企画も盛沢山です。

近所のふれあいの場として、普段あまり顔を合わせることのない方も、交流を深めることができる大事な機会なので、今後もお手伝いを続けていきたいと思えます。

平成 26 年度、茅ヶ崎市の民生委員・児童委員は、こんな相談・支援要請をお受けしました

相談・支援件数(分野別)

- 高齢者関連 3,356 件 * 52 件
- 子ども関連 1,115 件 * 598 件
- 障がい者関連 301 件 * 19 件
- 合計 5,560 件 * 698 件
- その他 788 件 * 29 件

主な相談・支援件数(内容別)

* マークの数字は、青数字中、主任児童委員が扱った件数を表します。

- 介護保険 292 件
- 生活環境 479 件 * 14 件
- 健康・保健医療 344 件 * 16 件
- 在宅福祉 420 件 * 9 件
- 子どもの教育・学校生活 369 件 * 204 件
- 子どもの地域生活 182 件 * 82 件
- 子育て・母子保険 425 件 * 306 件
- 日常的な支援 1,241 件 * 11 件
- 住居 107 件 * 1 件
- 生活費 159 件 * 6 件
- 年金・保険 41 件
- 仕事 30 件
- 家族関係 359 件 * 15 件
- その他 1,112 件 * 34 件

主任児童委員の活動

生後4か月までの赤ちゃん第2子以降を訪問し、子育てに関する市の事業や地域の情報をお伝えしています。何でも相談できる身近な子育て応援団です。

松浪地区/五十嵐 優子

(コーナー・イラスト: 湘南地区/佐藤 典子)

編集室から

* 昨年のこのコーナーで、豪雨や土砂災害被害のことを書かせていただきましたが、今年も「関東・東北豪雨」をはじめ、相次ぐ大型台風の襲来、複数の火山の噴火など、大きな被害が出ました。自然の猛威の凄まじさ・怖さと、復興のために汗される皆さんの力強さを改めて感じさせられました。

* 『在宅高齢者実態調査』は、初めて調査に参加した委員にとって、担当地区全体のことを知る良い機会になりました。紙面をお借りして御礼申し上げます。

* 「おひさま」も節目の5号を迎えました。これからもみなさまと市民児協を結ぶ架け橋となるように広報委員一同頑張ります。どうぞよろしくお祈りいたします。木下 操(鶴嶺東)

《編集制作》民児協ちがさき広報委員会
白井 愛子(海岸)、小林 勝(小出)、小澤 登代子(松林)、蓮本 敏(南湖)、黄木寺鳳樟(鶴嶺東)市保健福祉課・高橋 雄仁(事務局)

